

船舶事故調査報告書

平成22年10月28日
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決
 委 員 横 山 鐵 男（部会長）
 委 員 山 本 哲 也
 委 員 根 本 美 奈

事故種類	乗組員死亡
発生日時	不明（平成21年8月19日 04時20分ごろ～06時30分ごろの間）
発生場所	不明（高知県室戸市室戸岬西方沖～高知県中土佐町上ノ加江漁港沖の間）
事故調査の経過	平成21年12月21日、本事故の調査を担当する主管調査官（神戸事務所）ほか2人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報	<p>船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等</p> 漁船 第六十一 ^{わかみや} 若宮丸、495トン 133020、若宮水産株式会社 55.65m (Lr) × 9.60m × 4.80m、鋼 ディーゼル機関、1,471kW、平成5年1月
乗組員等に関する情報	<p>船長 男性 58歳 四級海技士（航海）免状 免 許 年 月 日 平成3年12月24日 免 状 交 付 年 月 日 平成18年12月23日 免 状 有 効 期 間 満 了 日 平成23年12月23日</p> <p>機関長 男性 57歳 五級海技士（機関）免状 免 許 年 月 日 昭和51年7月9日 免 状 交 付 年 月 日 平成17年11月9日 免 状 有 効 期 間 満 了 日 平成22年12月5日</p>
死傷者等	死亡 1人（機関長）
損傷	なし
事故の経過	<p>本船は、船長ほか5人が乗り組み、活魚を積み込むため上ノ加江漁港に向け航行中、室戸岬西方沖において、平成21年8月19日04時20分ごろ、一等機関士が機関当直を機関長に引き継いだ。</p> <p>本船は、06時30分ごろ、乗組員が入港配置についたとき、機関長がいないことに気付き、船内を捜索したが見当たらなかった。</p> <p>船長は、本船を反転させて当直交代地点付近まで捜索したが、機関長を発見することはできなかった。</p>
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 南東、風力 1、視界 良好 海象：波高 約1m、水温 約29℃
その他の事項	<p>機関長は、一等機関士との機関当直の引き継ぎの際に特に変わった様子はなかった。</p> <p>乗組員は、当直交代後に機関長を目撃していなかった。</p>

	<p>船尾甲板上に機関長のスリッパの片方があった。 機関長は、本船に約8年乗船していた。 行方不明となっていた機関長は、後日、死亡認定（死亡届）により除籍された。</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	不明 不明 不明 本船は、上ノ加江漁港に向けて航行中、機関長が、04時20分ごろ室戸岬西方沖で機関当直を引き継いだのち、06時30分ごろ上ノ加江漁港沖で行方不明であることが判明したことから、この間において、落水したものと考えられるが、落水した状況を明らかにすることはできなかった。
原因	本事故は、本船が上ノ加江漁港に向けて航行中、機関長が室戸岬西方沖において機関当直を引き継いだのちに落水したことにより発生したものと考えられる。	